

令和3年度三田地域小児在宅医療研修会

～在宅・教育・福祉の場で看護師を増やすために～

開催日時： 令和4年 2月 26日(土)14:00～17:00

場 所： ザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテル
三田市けやき台1丁目11-2

定 員： 50名(申込順) 申込メ切： 1月31日(月)

新生児医学の進歩に伴い、NICU から退院したものの、胃ろう、気管カニューレや人工呼吸器を抱えながら、地域で生活する重度の障害児が増えている。しかし、彼らをサポートする看護師の数が圧倒的に足りない。何故、在宅・教育・福祉の場で看護師が増えないのか？現場が抱える困難や悩み、それらを改善する手立てについて、ともに考えていきたい。



1. 開 会 司 会： 江原 伯陽 (日本小児在宅医療支援研究会理事 エバラこどもクリニック院長)

2. 挨拶 三田市医師会 会長 木村 忠史

3. 内 容 (14:05～15:25)

①「訪問看護師がかかえる地域の課題」

伊藤 慈子 氏 (訪問看護ステーションつな樹 所長)

②「放課後デイ等における看護師の課題」

浦林 抄千代 氏 (特定非営利活動法人 Welnet さんだ 主任看護師)

③「学校で働く看護師の役割について」

植田 陽子 氏 (医療法人財団はるたか会 Nurse Fight プロジェクト担当)

指定発言： 堂園 三弥子 氏 (三田市立ひまわり特別支援学校看護師長)

④「学校看護師の離職の背景とこれからの対策」

勝田 仁美 氏 (兵庫県立大学名誉教授)

— 休憩 (10分) —

4. 総合討論 (15:35～)

5. 申込先： 三田市医師会 (syogai@sanda-ishikai.jp) まで、メールのみの受付と致します。

参加希望の方は件名を「三田小児在宅」とし、①ご所属 ②ご芳名 ③職種 ④連絡先を記載の上、送信ください。

6. 閉 会

主 催： 三田市医師会

後 援： 兵庫県医師会・兵庫県小児科医会・三田市教育委員会・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況に依りましては、リモート開催に変更する場合がございます。

その際は申込されたメールアドレスにご連絡いたします事、ご了承ください。